



press release

2009年9月15日

(これは、ロンドン、リバプールにて9月14日に配信したものを、日本の皆様に向けて抄訳したものです)

スタンダードチャータード銀行、リバプール・フットボールクラブ スポンサー契約締結

リバプール・フットボールクラブ(リバプール FC)およびスタンダードチャータード銀行は、9月14日付で、主要スポンサーシップの4年契約に同意した、と発表しました。今回の契約は、リバプール FCにおける最大規模のスポンサー契約となり、2010年7月から2013/2014年シーズンまでの4年間、リバプール FCのユニフォームにスタンダードチャータード銀行の名前がロゴ入りで見られることとなります。

リバプール FCは、英国プロサッカー界で最強の名門チームですが、直近ではシンガポール・タイでのツアー・オープン戦で大きな成功を収め、ますますその名を世界にとどろかせています。スタンダードチャータード銀行は、同クラブの正式スポンサーとして、その主要市場であるアジア、アフリカ、中東地域において、そのブランド力を大きく高めるための権利を手にしたこととなります。

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード PLC は、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースで FTSE100 構成銘柄の上位 25 社にランキングされています。また、この 5 年間で収益・利益共に 2 倍強の成長を達成するとともに、昨今の金融危機においても最高益を更新し、業績は一貫して良好なものとなっています。

リバプール FC 経営陣のトップ、クリスチャン・パースローは、以下のようにコメントしています。「今回のパートナーシップ提携により、このふたつの組織が文化的にも戦略的にも大変強い結びつきを持つこととなります。リバプール FC に対するスポンサーシップの機会は、世界の有名企業だけではなくスタンダードチャータードからも大きな注目を集めました。リバプール FC は、今後の世界的な躍進に向けて理想的なパートナーを得ることができました。クラブ開設以来最大となるこの契約の締結は、我々クラブの発展の表れであると捉えています」

また、スタンダードチャータードグループ最高経営責任者(CEO)であるピーター・サンズは、次のように述べています。

「このような素晴らしいパートナーシップを、グローバルブランドであるリバプール FC と今後 4 年間にわたり結んだことは大変喜ばしいことです。私どもや株主の皆様、リバプール FC、選手、そしてファンの方々にとっても、まれにみる好機といえるでしょう。

私どもは、西欧諸国よりも早く世界景気後退から脱却しつつあるアジア、アフリカ、中東地域においては特に、ビジネス成長への多くのチャンスがあると見ています。今回のスポンサーシップ提携により、スタンダードチャータード銀行というブランドの認識度がコア市場で一段と高まり、ビジネス成長のさらなる促進が期待できます」

本件に関するお問い合わせは下記にて受け付けます。

クリストファー・ドミター
スタンダードチャータード銀行
コーポレートアフェアーズ部 部長
Tel: 03-5511-1361/ Fax: 03-5511-9333
Christopher.Domitter@sc.com
(日本語で対応します)

Ian Cotton
Director of Communications
Liverpool Football Club
+44 151 230 5721 / +44 7710 063660

リバプール・フットボールクラブ(リバプール FC)

リバプール FC は、世界のサッカー界で最も名の知られた名門クラブのひとつです。1892 年に創立されて以降、リーグタイトル 18 回、FA カップ7回、リーグカップ7回、欧州カップ5、UEFA カップ3 回獲得という輝かしい歴史を誇り、さらに、チャリティーシールド 15 回連続優勝、欧州スーパーカップ 3 回連続優勝も達成しています。

近代における同クラブの無類の成功は、伝説のマネジャーであるビル・シャンキーの主導で始まり、ラファエル・ベニテスが導いたかの有名なチャンピオンズリーグ(トルコ・イスタンブールで 2005 年 5 月開催)での優勝まで続きました。この試合は、サッカー史上最高の試合のひとつとして広く知られています。

世界に知られる Kop と呼ばれるリバプール FC の熱狂的なサポーターは、2006 年の FA カップの優勝や、それから一年後、3 年間で 2 度目となるアテネでのチャンピオンズリーグの最終戦にも駆けつけています。

同クラブの規模は、引き続き拡大しており、新たに 6 万席を擁するリバプール FC スタジアムの建設を約束しています。また、近くのスタンレーパークの修復、アンフィールド地区のイソラ・グラッドストーン音楽学校やその他再生補助活動(リジェネレーション・イニシアティブ)に、すでに多額の投資を行っています。同クラブのこのような地域コミュニティ活動が評価され、最近ナショナル・コミュニティ・マークを授与されました。

リバプール FC については、下記のサイトをご参照ください。
www.liverpoolfc.tv (英語版)

スタンダードチャータード銀行ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータードPLCは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100構成銘柄の上位25社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来150年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。また、この5年間で収利益共に2倍強の成長を達成いたしました。これは主に事業母体からの収益成長(オーガニック成長)によるものです。

スタンダードチャータード銀行は、お客様のニーズに注力した世界最高のインターナショナルバンクを目指しています。当行グループが計上する営業収益および営業利益のおよそ9割は、アジア・アフリカ・中東地域で事業展開するホールセールバンキング・コンシューマーバンキング両部門の事業収益から創出されています。また、世界70カ国以上で1,600店舗を展開するグローバル事業ネットワークを有し、その市場やビジネスにおける飛躍的な成長により国際的なキャリア構築の機会を生み出しているのです。

当行グループでは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として長期的視野に立ったサステナビリティ(持続性)のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治(コーポレートガバナンス)を保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を勝ち得ています。現在、125以上の国籍により構成される総勢70,000余名の行員(その約半数は女性)を擁し、上級管理職の国籍は70に及んでいます。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で129年目を迎えました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約290名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語):

www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語):

www.standardchartered.co.jp/index_english.html